

避難のポイント①

立退き避難の場合



**「避難」とは「難」を「避」けることです
安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません**



**避難先は市が開設する避難所だけではありません
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう**



- 1人での避難はできるだけ避けて
- 子どもから目を離さずに
- 子ども、高齢者、病気の方などは避難に時間がかかるので、早めの避難を
- マンホールや側溝に注意
- ひもで結べる運動靴で避難



- 避難する際は、そのまま食べられる食料・飲料水・スリッパ等必要なものを持参
- インフルエンザ等の感染症が流行している時期は、マスク・アルコール消毒液等を持参
- 常備薬、おむつ、ミルクなども必要に応じて持参



- 避難所では、ペットと避難者は同じ場所に避難できません（屋外になることもあります）
- ペットと避難する際は、ケージを持参
- ペットと避難する際は、食べ物やトイレ等を持参



- 発熱・せき等の症状がある場合など、体調がすぐれない方は避難時に申し出ましょう



できる限り、車を使わずに避難

もし車で避難すると…

- 水深と流速が増すと車ごと流される可能性がある
- 水深 15 ~ 20 cm程度に達すると車のエンジンが停止する可能性がある（浸水したらすぐに車外へ）
- 道路を掘り下げて潜り抜ける区間（アンダーパス）では、冠水のおそれがある（冠水したら車両の扉が開かなくなる）
- 道路が冠水していると、道路、水路、路肩等の見分けがつきにくく、脱輪の可能性がある
- 避難先の駐車スペースに限りがある

※要配慮者の送迎等でやむを得ず車で避難する場合は、風雨が強くなる前に避難しましょう。また、送迎後にはできる限り車を自宅へ戻し、徒歩等で避難しましょう。